

# 日本技術士会に入会する メリットを拡大しよう！

Let's extend the merit of joining the Institution of Professional Engineers, Japan

## 1 日本技術士会入会のメリットとは？

「技術士会に入会するメリットは何ですか？」日本技術士会会員（以下、技術士会員）であれば一度は聞かれたことがあり、自身も考えたことのある質問ではないだろうか。技術士会入会案内のリーフレットには、入会による7つのメリットが記載されている。いずれも業務独占的メリットを期待する人に入会のメリットは見つけられない。

そこで本稿では、業務独占的メリットを期待する人でも「技術士会に入会するメリット」があると考えられる案を3つ提案する。これらの提案を実現することにより、技術士の認知度向上ならびに技術士会入会の動機づけ、会員数拡大の好循環に繋がることを期待する。

## 2 技術士会に入会するメリットの拡大案

### (1) 公的プロジェクトの審査員

日本の科学技術を支える基礎研究、そこに資金面で支援する科学研究費補助金いわゆる“科研費”の審査は、科学技術立国日本を支える重要なプロセスである。現在、審査システムの改革が進行中ではあるが、審査委員の中に技術士会員を必須メンバーに位置づけることを提案する。より適切・公平な審査、ひいては資金の有効活用に繋がると考える。何故なら技術士は技術士法第二条で「科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者」と定義されており、その要件を満たす者に技術士の資格が与えられているからだ。

技術士は技術と社会を繋ぐ担い手としての役割があり、基礎研究をどのようにして社会に実装するのか、その観点から研究計画を評価できる人材である。21の技術部門にいる技術士会員は、全国大会や部会の活動を通じて倫理観をわきまえ、最新の科学技術の動向に明るい。国によって認め

高橋 俊哉 (たかはし しゅんや)

技術士（生物工学部門）  
40歳代 2014年入会

埼玉県支部 統括本部／広報委員会  
大正製薬（株）情報検索室  
e-mail：takahashisy4@gmail.com



られた技術士を、科研費をはじめとする公的プロジェクトの審査員として位置付けることを望む。

### (2) ITを活用した技術士会員のネットワーク強化ならびに課題解決支援ツールの提供

技術士会に入会すると「WEB名簿検索（会員情報検索）」が利用できる。この機能は会員が“能動的”に検索して利用する仕組みだが、登録されている会員情報を活用して、“受動的”に有用な情報が提供される仕組みの導入を提案する。

例えば事前に指定した興味ある分野のCPD講座や技術士会員の紹介である。紹介された会員同士が技術情報を交換するWebツールが提供されれば、会員同士のネットワーク強化に繋がる。さらに技術士の集合知として、CPD講座、月刊『技術士』、会員情報の内容を課題解決別に集約・分類して逆引き的利用ができる仕組みがあると、技術的課題の解決支援ツールとして有用と考える。

### (3) Webサイト・書籍による情報発信

技術士試験合格後、何を期待して技術士会に入会したのか、入会によって広がった世界はどのようなものなのか、そもそも何故技術士試験を受験したのか等、技術士会員が自らの体験や想いを投稿・蓄積・公開することができるWebサイトの構築を提案する。一部の内容は書籍として出版し、広く一般の人々に技術士の魅力を伝えれば、技術士の認知度向上だけでなく、受験者のモチベーションの維持・向上、受験者数の増加、ひいては会員数拡大に繋がると考える。

## 3 おわりに

本稿で提案した内容のうち、(1)は生物工学部会の活動の中から自然にでてきたもので、ワーキンググループとして対応を検討している。また(3)も生物工学部会の有志で対応を検討している。今後、提案した内容の実現に向け、他部会の技術士会員とも連携して取組んでいきたい。